

横浜市立永田台小学校



学 校 だ よ り



3月号 令和8年3月1日 NO.601



記憶を呼び起こすもの

校長 松本 久美子

日増しに春に近づいているのを感じるようになりました。つい先日は4月並みの気温になった日もありました。夕方の日の入りの時刻もだんだん遅くなってきました。

学校も学年の学習や活動のまとめをする時期に入りました。かがやきの時間に行ってきた活動も、各クラスで最後の発表をしたり、活動を振り返ったりしています。子どもたちが自分の成長を振り返り、周りの教職員がそれを価値づけることで、自己肯定感を高めて次の学年に向けての心の準備をする大切な機会ととらえています。ご家庭でもぜひお話をしていただきたいと思います。

春が近づき、ジンチョウゲの花の香りがかぐと、ありありと思い出す光景があります。高校入試の発表の日のことです。友達と発表を見に行ったら帰りに、道端でジンチョウゲの花が良い香りを放っていたので、1輪だけもらって中学校に持ち帰りました。(本当は花を摘み取ることはしてはいけないことです。今さらですがごめんなさい)職員室で先生たちに合格を報告して「おめでとう」と言ってもらえたこと、発表までのそわそわした気持ちから解放された喜び、これから始まる新しい学校生活に対する期待感など、今でもジンチョウゲの花の香りがかぐと、そのときの光景や感情をはっきりと思い出します。

同じように特定の音を聞くことで記憶が呼び起こされることもあります。音楽を聴いて懐かしい思いをすることがそれだと思います。また、特定の物を見たときに記憶が蘇ることもあります。大人になればなるほど経験が増えるので、そのような機会は増えていきます。

6年生はもうすぐ卒業し、中学校という新しい環境に移っていきます。何かをきっかけに永田台小学校のことを思い出してくれたらうれしいなと思います。またそれが前向きな感情を呼び覚ますものであったならもっとうれしいです。

先日は学校アンケートへのご協力をありがとうございました。肯定的なご意見が多かった中で、改善を望むご意見もありました。様々な観点から検討し、今後に生かしていきたいと思います。

